

## 「財団法人日本食品分析センターによる試験にて安全性を立証」

安定型次亜塩素酸ナトリウムは人体に対する安全性を試験により確認済みですので安心してご使用いただけます。  
以下の試験は全て安定型複合塩素製剤SO-859-3を検体としています。

### 【誤飲に対する安全性】

雄マウスを用いた急性経口毒性試験(財団法人日本食品分析センターによる試験)を行った。※市販の有効塩素濃度100ppmに対し、試験では202mLkg $\equiv$ 2000ppmという20倍の濃度を検体とした。

- 死亡例…14日間観察期間中に死亡例は認められなかった。
- 一般状態…14日間観察期間中に異常は見受けられなかった。
- 体重変化…14日間体重測定において対照群と比べ体重差に差は見られなかった。
- 解剖所見…観察期間終了後の剖検では、すべての試験動物に異常は見られなかった。

☆マウスの急性毒性試験結果を市販の20倍の濃度で異常なしの結果が得られていることから、100ppmでの誤飲に関して人体への毒性・影響は皆無であることが立証済みです。

### 【発ガン性物質「トリハロメタン」をださない】

安定型次亜塩素酸ナトリウムは、希釈あるいは殺菌反応の際に発ガン性物質のトリハロメタンを出さない安全な製剤です。  
安定型次亜塩素酸ナトリウムは、その特殊な製法により塩素が気化しにくく、極めて安定して性能を維持します。

水による希釈や反応時にも。ガス化が起こらず、反応後も微量な塩化ナトリウム(塩)と水が出るだけで、通常の塩素系製剤の様なトリハロメタンの放出が起こらないのが特長です。

日常的に使用しても、発ガン性物質であるトリハロメタンを吸引してしまう事はありませんので、常に手軽に使用していただけます。  
食の安全だけでなく、ユーザーの安全も確保できなければ本当の安全とは言えません。

### 【眼に対する安全性】

ウサギを用いた眼刺激性試験(財団法人日本食品分析センターによる試験)を行った。※安定型複合塩素製剤SO-859-3の有効塩素濃度100ppm濃度を検体とした。

- 試験結果要約…OECD Guidelines for the Tasting Chemicals 404(2002)に準拠し、ウサギを用いた眼刺激性試験を行った。  
検体をウサギ3匹の片眼に0.1mL点眼した結果、点眼後1、24、48及び72時間の各観察時間において刺激反応は見られなかった。  
raize法に従って算出した観察期間中の平均合計点の最高値は0であった。  
以上の結果から、ウサギを用いた眼刺激性試験において、検体は「無刺激物」の範疇にあるものと評価。

☆市販濃度100ppmでの使用に際して、安定型次亜塩素酸ナトリウムの液体及びミスとが皮膚にかかった場合にも皮膚への刺激・影響が皆無であると考えられ、人体への安全性が極めて高い製品と言えます。

### 【皮膚に対する安全性】

ウサギを用いた皮膚一次刺激性試験(財団法人日本食品分析センターによる試験)を行った。※安定型複合塩素製剤SO-859-3の有効塩素濃度100ppm濃度を検体とした。

- 試験結果要約…OECD Guidelines for the Tasting Chemicals 404(2002)に準拠し、ウサギを用いた皮膚一次刺激性試験を行った。  
検体をウサギ3匹の無傷及び有傷皮膚に4時間閉鎖適用した結果、除去後1時間に全例で非常に軽度～はっきりした紅斑が見られたが、24時間に消失した。

ISO 10993-10 Biological Evaluation of Devices-Part 10 (2010) に従って求めた一次刺激性インデックス(P.I.I.)は0となり、ウサギ以上の結果から、ウサギを用いた眼刺激性試験において、検体は「無刺激物」の範疇にあるものと評価。

☆市販濃度100ppmでの使用に際して、安定型次亜塩素酸ナトリウムの液体及びミスとが皮膚へかかった場合にも皮膚への刺激・影響が皆無であると考えられ、人体への安全性が極めて高い製品と言えます。